

都市再生整備計画

あさくらえきしゅうへん

朝倉駅周辺地区

あいち ちたし
愛知県 知多市

令和6年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	愛知県	市町村名	ちた知多市	地区名	あさくらえきしやうへん朝倉駅周辺地区	面積	9.2	ha
計画期間	令和6年度	～	令和8年度	交付期間	令和6年度	～	令和8年度	

目標
○知多市の玄関口にふさわしい都市拠点の形成及びにぎわいの創出 ・市の活性化を先導する拠点としてふさわしい都市機能の集積 ・駅周辺の災害防止及び円滑な交通環境のための整備
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針)を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 本市は、知多半島の北西部に位置し、北は東海市、東は東浦町、阿久比町、南は常滑市に接し、西は伊勢湾に面しており、市域面積は45.90km2 となっている。名古屋市の中心部からは南へ約20km、中部国際空港からは北東へ約18km に位置しており、鉄道利用で名古屋駅から約20 分、中部国際空港から約15 分と優れた立地にあり、ベッドタウンとしての傾向が強い。 主な幹線道路として、名古屋方面と結ぶ西知多産業道路、西三河地域と結ぶ都市計画道路知多刈谷線及び都市計画道路知多西尾線などがあり、交通アクセスに優れている。また、知多半島西部における広域道路網の軸となる西知多道路の計画も進められており、市内複数のインターチェンジから乗り降りが可能となるなど、更なる利便性向上が見込まれる。 これまでは人口増加による需要に対応し、道路、下水道、公園などの都市基盤を計画的に整備してきたが、今後は、人口減少、少子高齢化が進む見込みであり、生活に必要な施設や公共交通の縮小、撤退や、財政規模の縮小、公共施設の脆弱化などが懸念されることから、持続可能な都市の形成に向け、主要な鉄道駅等を核とした集約型都市構造への転換に向けた取り組みが必要となっている。 このことから、知多市都市計画マスタープランにおいて、市の玄関口である朝倉駅周辺を、行政、商業、文化・スポーツ交流機能や居住機能が集積する「都市拠点」、都市計画道路東海知多線沿道や巽ヶ丘駅、新舞子駅周辺、岡田中央地区を、都市拠点を補完し、都市機能が集積する「副次的都市拠点」に位置付け、各拠点間を幹線道路ネットワーク及び公共交通ネットワークで結ぶことで、多様なライフスタイルに見合った安全で安心な市街地の形成を図る方針としている。 また、知多市立地適正化計画では、都市計画マスタープランにおいて位置付けた都市拠点である朝倉駅周辺地区と、各副次的都市拠点において、医療・福祉・商業等の各種サービスを効率的に提供する区域として「都市機能誘導区域」に設定している。 都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針については、知多市公共施設総合管理計画及び知多市公共施設再配置計画において、公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行うこととしており、再配置方策として、図書館は朝倉駅周辺に移転する予定としている。
まちづくりの経緯及び現況
・本地区は、昭和30年～40年代にかけて行われた公有水面埋立てにより形成された土地であり、市役所や警察署、下水道処理施設(現在は廃止)、保健センター(現在は移転)や、市営駐車場(現在は朝倉駅周辺整備事業の事業中であり、地区の南側で暫定利用)などが整備され、現在に至っている。 ・本地区と隣接する北側のエリアには、勤労文化会館や市民体育館などの文化・スポーツ施設が立地しており、さらに北側では、愛知県サッカー協会による愛知県フットボールセンター知多の整備が進められている。 ・本地区と隣接する北側のエリアでは、従前から無電柱化に取り組んでいるが、個々の電線管理者ごとの対応となっている。 ・朝倉駅は、1日の平均乗降客数が約5,500人(コロナ禍前は約8,000人)と市内で最も多く、名古屋駅や中部国際空港へのアクセス性に優れており、交通結節点としての役割を担っている。一方で、朝夕の通勤・通学時間帯には、駅付近の交差点で、朝倉ICへ向かう車や、朝倉駅への送迎車による交通渋滞が発生していたことから、駅周辺の交通環境の改善に向け、駅前ロータリーの改良を行った。 ・本地区は、都市計画マスタープランで都市拠頭に位置付けられているが、現状は行政機能(市庁舎等)が立地するにとどまっており、知多市の中心として都市拠点を形成する商業・業務機能が不足している。また、北側の文化・スポーツ施設と連携して、効果的な土地利用を図り、にぎわいのあるまちづくりを進める必要がある。 ・これらを踏まえ、市内外から多くの人が訪れ、朝倉駅周辺がにぎわいの交流拠点となるよう、新庁舎、駅前駐車場、図書館、子育て支援施設等の公共施設を整備するとともに、市有地を事業者に貸し付けて、商業施設やホテル等を誘致することにより、にぎわいの創出を目指している。
課題
・市の玄関口である朝倉駅周辺は、商業・業務機能の集積は十分といえないことから、市の顔としてふさわしいにぎわいを創出する土地利用を誘導する必要がある。 ・災害の発生時にも、防災拠点である新庁舎は電力や通信の安定供給を確保が必要である。また、周辺道路等を閉塞しないよう、無電柱化施設の整備が必要である。 ・都市機能の集積により駅周辺の利用者が増加する見込みであることから、駅周辺の交通環境の整備が必要である。

・朝倉駅周辺をにぎわいの交流拠点とするため、新庁舎、図書館などを整備するとともに、商業施設などを誘致し、人が集い、交流する空間を創出する。

・朝倉駅周辺では、交通結節機能の強化、駅へのアクセス改善や朝倉ICへの円滑な自動車動線の強化等、駅周辺の混雑解消に向けた交通環境の整備を進める。整備に当たっては、無電柱化に配慮し、バリアフリー化、ユニバーサルデザインの導入を図る。

・市が保有する公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化を図る。

・中央図書館は、設備の老朽化が進み、また、利用者のニーズに合わせたサービスの充実が必要となっており、朝倉駅周辺に移転を予定する。

・本地区の誘導施設として、文化施設(中央図書館)、子育て支援施設、商業施設(店舗面積10,000㎡以上)、行政施設(知多市役所)を設定する。

・朝倉駅周辺のまちづくりのコンセプトを「知多市の玄関口にふさわしい顔づくり」として、広域圏に開かれたにぎわい・交流拠点づくりを進め、市の活性化を先導する。

・自然災害に強く、イニシャルコストだけでなく、省エネルギーや地域環境を考慮しながらライフサイクルコストを低減し、かつ、機能向上を図ることのできる駅前の中心施設として地域の価値を向上させる新しい庁舎の整備を目指す

集約型都市構造の構築に向けて、都市計画マスタープランにおいて都市拠点や副次的都市拠点に必要な機能を集積することとしており、本地区においては、新庁舎及び朝倉駅前駐車場とともに電線共同溝の整備を進め、その後に図書館及び子育て支援施設の整備や道路改良などとともに商業施設等を誘致することにより、都市機能の集積及び交通結節機能の強化を一体的に推進し、北側の既存文化・スポーツ施設と連携して、にぎわいのある都市拠点の形成を図る。

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
朝倉駅の乗降客数	人／日	名古屋鉄道株式会社公表による、朝倉駅の1日平均の乗降客数	都市機能の集積によるにぎわい創出の度合いや、駅周辺の交通環境の整備の効果を、朝倉駅の乗降客数で評価する。	5,575	R3	5,650	R9
駅前駐車場が機能的で利用しやすいと思う利用者の割合	%	駅前駐車場の利用者に対するアンケートの回答	駅前駐車場の整備の効果を、駅前駐車場が機能的となったと感じる利用者の割合で評価する。	61.2	R3	75.0	R9
中街区でのイベントの日数	日／年	朝倉駅周辺整備事業における中街区において実施されるイベントの日数	都市機能の集積によるにぎわいの創出の度合いを、イベントの日数で評価する。	1	R4	3	R9

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
【市の活性化を先導する拠点としてふさわしい都市機能の集積】 ・新庁舎や駅前駐車場の整備にあわせ、広場や植栽、新庁舎テラスを整備し、民間収益事業のホテルを誘致することにより、にぎわい・くつろぎ空間の創出に向けた都市機能を集積する。		■基幹事業 ・地域生活基盤施設：朝倉駅前駐車場、広場 ・高質空間形成施設：植栽整備 □提案事業 ・地域創造支援事業：新庁舎テラス ○関連事業 ・新庁舎整備事業 ・民間収益事業：ホテル
	【駅周辺の災害防止及び円滑な交通環境のための整備】 ・電線共同溝を整備することにより、防災拠点である新庁舎の周辺の災害を防止するとともに、駅利用者の安全かつ円滑な交通の確保を図る。	■基幹事業 ・道路：電線共同溝（市道10503号線、10270号線） ○関連事業 ・都市・地域交通戦略推進事業：駅前ロータリー ・道路（社会資本整備総合交付金）：市道10517号線 ・新庁舎整備事業 ・道路：朝倉駅南ロータリー、市道10270号線
その他		

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	349	交付限度額	174.5	国費率	0.5
---------	-----	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業	事業 細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費	費用便益比 B／C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
基幹事業	道路	電線共同溝(市道10503号線、10270号線)	知多市	直	300m	5	8	6	7	125	115	115		115	—
	公園														
	古都保存・緑地保全等事業														
	河川														
	下水道														
	駐車場有効利用システム														
	地域生活基盤施設	朝倉駅前駐車場	知多市	直	300台	7	8	7	8	850	850	850		212	—
		広場	知多市	直	400㎡	8	8	8	8	15	15	15		15	—
	高質空間形成施設	植栽整備	知多市	直	1箇所	8	8	8	8	2	2	2		2	—
	高次都市施設	地域交流センター													
		観光交流センター													
		テレワーク拠点施設													
		子育て世代活動支援センター													
		複合交通センター													
	誘導施設	医療施設													
		社会福祉施設													
		教育文化施設													
		子育て支援施設													
		元地の管理の適正化													
	基幹的誘導施設														
	既存建造物活用事業														
	土地区画整理事業														
	市街地再開発事業														
	住宅街区整備事業														
	バリアフリー環境整備事業														
	優良建築物等整備事業														
	住宅市街地総合整備事業														
	街なみ環境整備事業														
	住宅地区改良事業等														
	都心共同住宅供給事業														
	公営住宅等整備														
	都市再生住宅等整備														
	防災街区整備事業														
	復興促進事業														
	エリア価値向上整備事業														
	合計									992	982	982	0	344	—

統合したB／Cを記入してください

提案事業	事業 細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
提案事業	地域創造 支援事業	新庁舎テラス	知多市	直	200㎡	8	8	8	8	5	5	5		5	
	事業活用 調査														
	まちづくり活 動推進事業														
	合計									5	5	5	0	5	

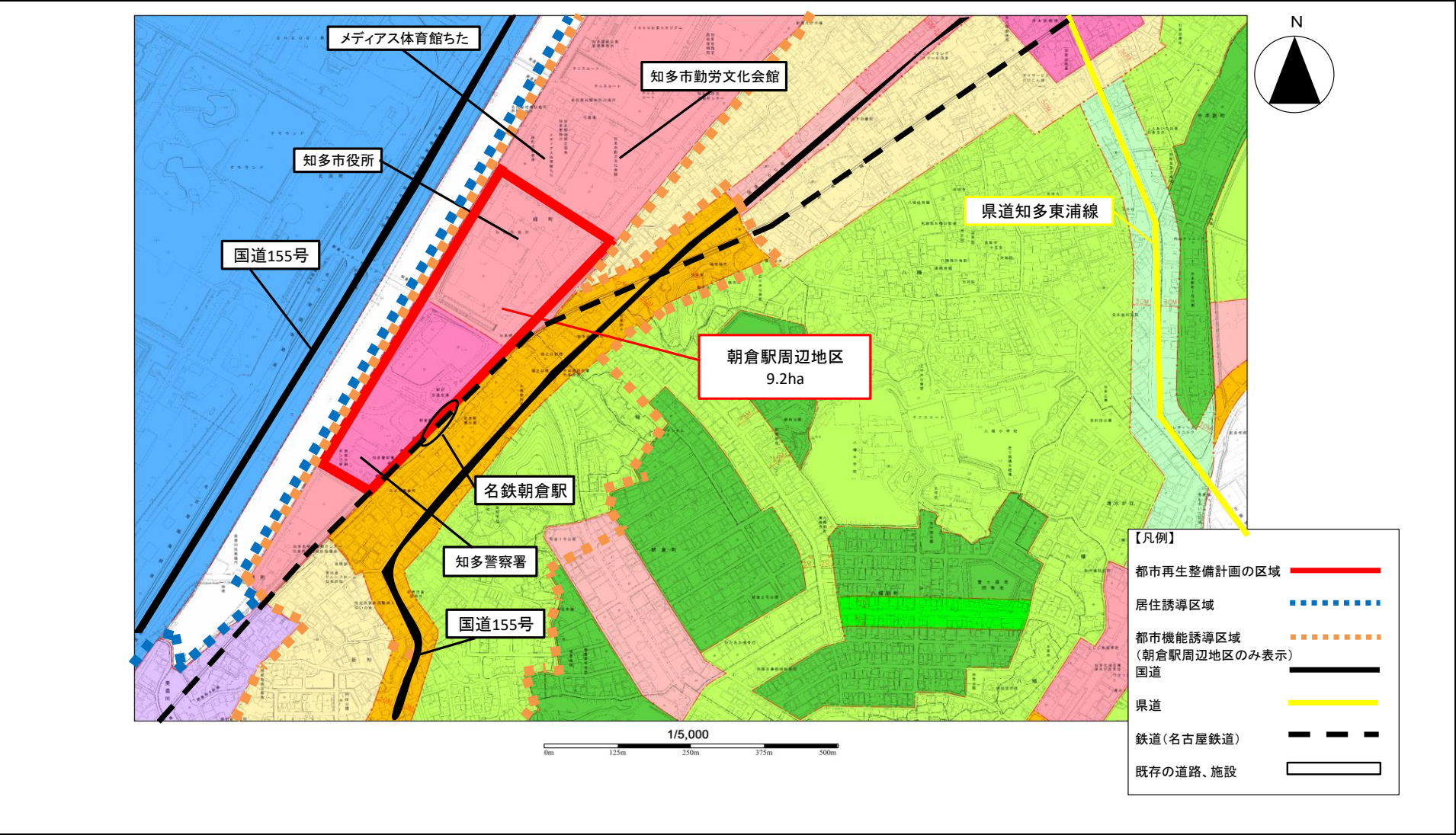
…B

居住誘導促進事業													
事業	事業箇所名	事業主体	直／間		(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付期間内		交付対象 事業費
					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
居住誘導促進事業													
合計									0	0	0	0	0
											合計(A+B+C)	349	

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間単独	開始年度	終了年度	
					/	/	/	/			
					/	/	/	/			
合計					/	/	/	/			0

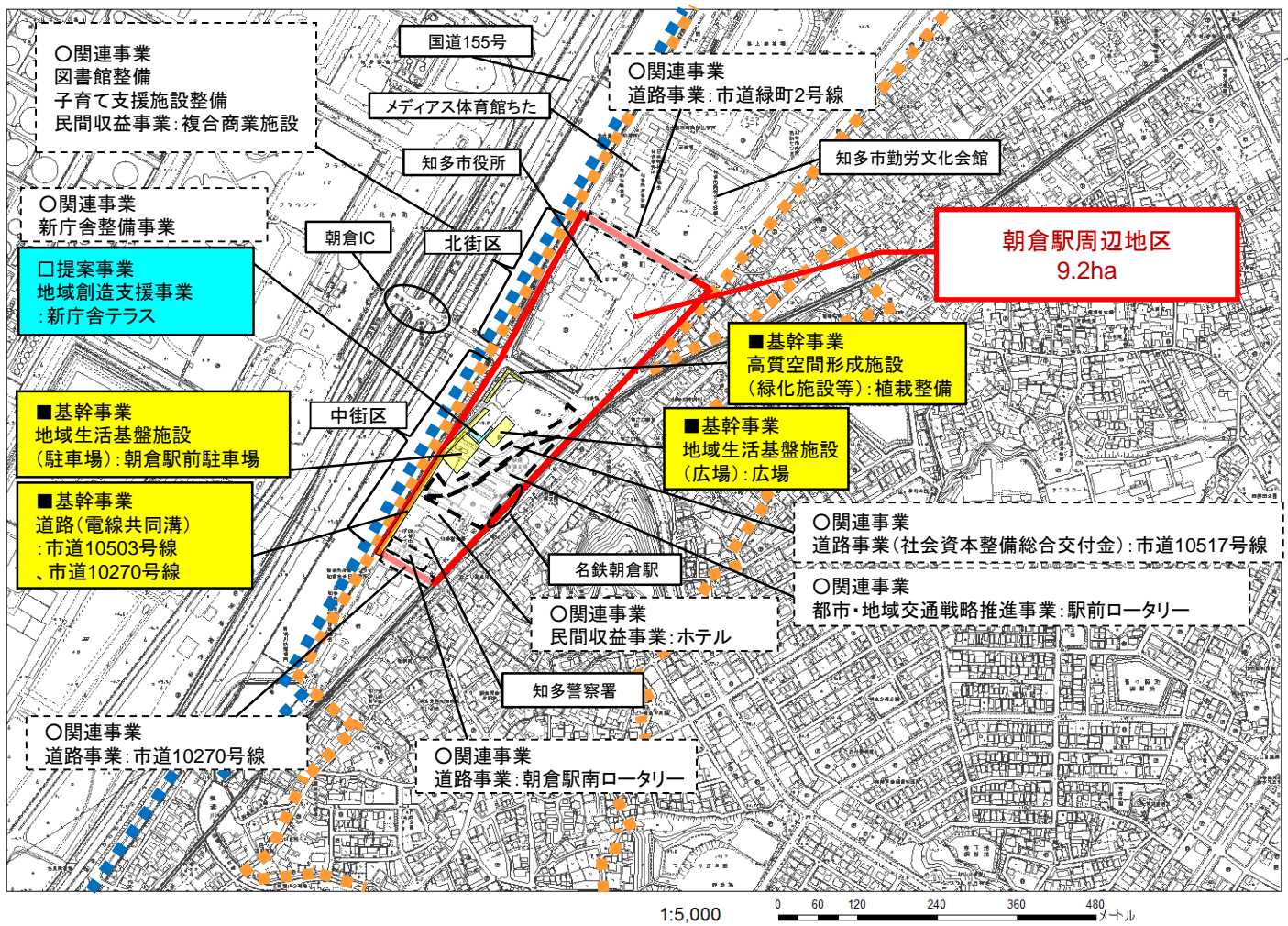
[illegible]

朝倉駅周辺地区(愛知県知多市)	面積	9.2	ha	区域	知多市緑町の一部
-----------------	----	-----	----	----	----------



朝倉駅周辺地区(愛知県知多市) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	○知多市の玄関口にふさわしい都市拠点の形成及びにぎわいの創出 ・市の活性化を先導する拠点としてふさわしい都市機能の集積 ・駅周辺の災害防止及び円滑な交通環境のための整備	代表的な指標	朝倉駅の乗降客数 (人/日)	5,575 (3年度) → 5,650 (9年度)
			駅前駐車場が機能的で利用しやすいと思う利用者の割合 (%)	61.2 (3年度) → 75.0 (9年度)
			中街区でのイベントの日数 (日/年)	1 (4年度) → 3 (9年度)



凡 例

■	基幹事業
□	提案事業
- - -	関連事業